

計画の名称	城下町・港町の風情と人情溢れる景観まちづくり（第3期）															
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）										重点配分対象の該当					
交付対象	宮津市															
計画の目標	本市が有する自然、歴史及び文化等の資源を活かしながら、快適で魅力的な歩行者空間の創出とネットワーク化による回遊性の向上等を図り、城下町・港町の風情と人情溢れる景観まちづくりを目指してきたものを、引き続き、住民及び地域団体等と共に守り育てていく。															
全体事業費（百万円）		合計（A＋B＋C＋D）		52	A	48	B	0	C	4	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A＋B＋C＋D）		7.69	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R1		R7
1	宮津市街地における観光入込客数を594,200人/年（R1）から653,600人/年（R7）に増加			
	宮津市街地における観光入込客数の調査	594200人/年	人/年	653600人/年
2	文珠地区における観光入込客数を1,131,100人/年（R1）から1,244,200人/年（R7）に増加			
	文珠地区における観光入込客数の調査	1131100人/年	人/年	1244200人/年
3	府中地区における観光入込客数を857,400人/年（R1）から943,100人/年（R7）に増加			
	府中地区における観光入込客数の調査	857400人/年	人/年	943100人/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	宮津市	間接	民間等	-	-	街なみ環境整備事業（宮津市街地地区）	協議会等活動助成、街なみ修景助成	宮津市	■	■	■	■	■	16	12.7	-	
	A16-002	住宅	一般	宮津市	間接	民間等	-	-	街なみ環境整備事業（文珠地区）	協議会等活動助成、街なみ修景助成、空家除去	宮津市	■	■	■	■	■	16	24.34	-	
	A16-003	住宅	一般	宮津市	間接	民間等	-	-	街なみ環境整備事業（府中地区）	協議会等活動助成、街なみ修景助成	宮津市	■	■	■	■	■	16	18.44	-	
											小計							48		
											合計							48		

C 効果促進事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
住環境整備事業	C16-001	住宅	一般	宮津市	間接	民間	-	-	美観電柱事業	電柱の統合、再配置、美観電 柱への変更	宮津市	■	■	■	■	■	2	18.48	-	
		街なみ環境整備（A16-001-A16-003）とあわせて、電柱の統廃合、再配置や街なみと調和した美観電柱への変更を行うことで、歴史的な街なみ修景が図れる																		
	C16-002	住宅	一般	宮津市	間接	民間	-	-	環境整備事業	案内板などの設置等費用を助 成	宮津市	■	■	■	■	■	1	18.48	-	
		街なみ環境整備（A16-001-A16-003）とあわせて、案内板等を設置することで、地域住民や観光客の利便性の向上が図れる																		
	C16-003	住宅	一般	宮津市	間接	民間	-	-	屋外広告物等助成事業	屋外広告物等の撤去、集約化 費用を助成	宮津市	■	■	■	■	■	1	18.48	-	
		街なみ環境整備（A16-001-A16-003）とあわせて、屋外広告物等の撤去、集約化を図ることで、歴史的な街なみ修景が図れる																		
											小計							4		
											合計							4		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業評価にあたって、定量的指標については、事業を所管する建設部都市住宅課による評価とし、定量的指標以外の事業評価については、宮津市景観デザイン委員会において評価を行った。	令和8年4月
	公表の方法 市のホームページ上にて

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・民間建物への修景助成を実施することにより、地域住民の景観意識の向上が図れ、さらなる建物修景向上につながっている。 ・こうした環境整備を行う一方で、「海の京都」と銘打った観光プロモーションを更に強力に展開することにより、各地において観光客数が増加した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	・観光地として相応しい受け皿づくりについて、市民、行政それぞれの役割を担いながら一致団結して取り組んだことで、各事業が相乗的に効果を発揮した。 ・具体的には、市民は積極的な建物修景に取り組む一方、この街なみ環境整備事業以外でも京都府により府道の電線地中化が進められている。 ・こうした事業により、まち全体が風情のない古びたものから一新し、雰囲気あるいにしえの趣きを残しながら住む人、訪れる人ともにとって快適で魅力ある街なみを創出した。

○特記事項（今後の方針等）

- ・景観計画及び地域の景観に係る協定に基づき建物修景を引き続き行い、良好な街なみ景観を維持・創出する。
- ・併せて、道路の舗装美装化を実施し、歩行者の利便性、安全性の向上を図る。
- ・こうした取組みとあわせ、引き続き観光分野におけるソフト事業も展開しながら、さらなる集客を目指す。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	653600人/年	コロナ禍による影響が回復しきっていないにも関わらず目標値を高く設定したため、目標値を下回った。（H31実績594,000人）
	最 終 実績値	596000人/年	
2			
	最 終 目標値	1244200人/年	
	最 終 実績値	1361000人/年	
3			
	最 終 目標値	943100人/年	コロナ禍による影響が回復しきっていないにも関わらず目標値を高く設定したため、目標値を下回った。（H31実績857,000人）
	最 終 実績値	751000人/年	